

令和3年10月29日

保護者の皆様へ

門真市立砂子小学校
校長 満永 誠一

令和3年度 すくすくウォッチ結果のお知らせ

今年度5月27日に実施されたすくすくウォッチについて、本校の結果をまとめましたのでお知らせします。この調査は、5年生の国語・算数・理科、5・6年生のわくわく問題（教科横断的問題）、児童アンケートについて行われたもので、学校全体の傾向を示すものではありませんが、1年生から積み重ねてきた学習指導の結果を反映したものであり、学校ではその結果を踏まえて、今後の授業改善などの学力向上対策に役立ててまいります。なお、わくわく問題および児童アンケートの結果まとめについては、別紙にてお知らせいたします。

1. 学力の概要

①大阪府平均との比較

教科	国語	算数	理科
府平均に 対する評価	同程度である	下回っている	下回っている

②正答率が高かった問題例

国語

・指示語の指示内容を捉えて、文を正しく理解する。 95.0%

・意味のつながりを考えながら、適切な接続表現を使って一文の内容

を二文に分けて書く。

算数

・変化を表したグラフから、正しく数値を読み取る。 95.0%

理科

・金属と磁石の関係を正しく理解する。 57.5%

③正答率が低かった問題例

国語

・日常で使うローマ字を正しく書く。 30.0%

・平仮名で書かれた文の意味を捉え、適切な既習漢字を使って書き直す。 27.5%

算数

・長方形の辺の長さとの面積の関係を正しく理解している。 25.0%

・分数の意味を正しく理解する。 40.0%

理科

・電気回路のしくみを正しく理解する。 40.0%

2. 学校の取組と評価

・国語では、砂子タイム等の取組から基本的な指示語や接続表現が身につけていたと考えられます。

・ローマ字や漢字は普段あまりなじみがなく正しく書くことが難しいようです。

・算数だけでなく理科や社会などの学習を通して、グラフや図から数値を読みとることはできています。

3. 今後の取組について

・各教科の学習を通してPCを使用する際に、ローマ字入力をする。

・砂子タイムの国語・算数のプリント学習において、じっくり思考する問題に多く取り組む。

・各教科の学習で、適宜AIドリルを活用し、既習内容のふり返りに取り組む。

4. 保護者の皆様へ

国語科では、一定の力が身につけていますが、算数・理科といった科学的に思考する教科に課題が見

られました。今後、漢字やローマ字を正しく覚えて書ける力を育てるとともに、結果を予想し、筋道を立て

ながら、科学的に考える学習を多く取り入れていきます。なお、このテスト結果は、お子様の学習状況の一

部を表したものにすぎないこともご理解ください。